

Women of Mathematics: A Gallery of Portraits

2019年10月10日(木)～11月1日(金)

時間：10:00～17:00(最終日の受付は12:00まで)

駐日欧州連合代表部

〒106-0047 東京都港区南麻布 4-6-28 ヨーロッパハウス

主催： 数理女子、駐日欧州連合代表部代表部

後援： 日本数学会

協力： 東京大学大学院数理科学研究科、慶應義塾大学理工学部数理科学科、
東北大学知のフォーラム

数学分野における女性研究者の数は、男性研究者に比べて世界的に少ない。特に日本においては、女性数学者の割合は極めて低く、状況が急速に変わりつつあるようにもみられない - 例えば、日本政府の統計データによると、数学専攻の博士学生のうち女性は6%である。数学を創造することの人間的な側面に光を当て、また若い女性研究者にロールモデルを提示することを目的として、「Women of Mathematics throughout Europe: A Gallery of Portraits (<http://womeninmath.net>)」と題した欧州在住の女性数学者のポートレートを集めた移動型の展示が行われている。カメラマンのNoel Matoff氏による写真とポツダム大学教授のSylvie Paycha氏によるインタビューの抜粋からなるパネルの展示は、2016年に行われたベルリンでのヨーロッパ数学者会議で初披露された。その後現在に至るまで、この展示は世界各国(20カ国、97カ所以上)で開催され高い評価を得ている。

この世界的な成功を受け、2019年前半に行われた日本数学会年会において、この展示が「日本の数学者」と題した展示と合わせて開催された。「日本の数学者」は、カメラマンの河野裕昭氏による写真と数学者からの直筆メッセージからなるパネルによって構成された。これらの展示は、日本数学会男女共同参画社会推進委員会の主催、数学を志す女性を支援する有志団体である数理女子の共催により行われた。

このたび、より多くの人々に欧州と日本の女性数学者の姿とメッセージが届くことを期待して、駐日欧州連合代表部がホストとなり、合同展示「Women of Mathematics throughout Europe: A Gallery of Portraits」と「日本の女性数学者」を開催することとなった。EU諸国と日本の経験を共有する場を提供することで、本イベントが、数学分野を志す、あるいはそこで働く女性が度々直面する課題や障壁をいかにして取り除いていくかという議論を促すものとなることを願っている。ひいては、このような議論が日本の数学分野における男女共同参画の推進へとつながることを望んでいる。



EUROPEAN UNION
Delegation to Japan



The Mathematical
Society of Japan



Graduate School of
MATHEMATICAL SCIENCES
THE UNIVERSITY OF TOKYO

